

フォーラム 2015

自然と歴史から考える里浜の未来

— 自然のめぐみを最大化する '里浜復興シナリオ' 創出 —

2011年3月11日の未曾有の災害から、間もなく5年。「海と陸、河川が接する海岸エコトーン」に散りばめられていた「うるわしいふるさと・里浜」では、どんな復興・地域づくりがなされてきたのでしょうか？

「フォーラム2015」では、(1)「ふるさと・里浜の自然、伝統的な知恵・技法と復興事業が調和することの大切さ」について考え、(2)「持続可能な里浜づくり」の根幹にある「多重防御と合意形成」を最適化するための「里浜復興シナリオ」創出活動について報告・議論します。

東日本大震災後に大きく変貌し続ける太平洋沿岸域・里浜に関心をお持ちの皆様にご参集いただき、交流を深めたく、ご案内申し上げます。

2016年2月13日(土) 13:00～17:00

東北学院大学「土樋」キャンパス 8号館 5階 押川記念ホール

(<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/access/>)

基調講演 『ふるさとの自然・里浜と「和(あ)える」ことが復興のポイント！』

鈴木邦雄 (横浜国立大学前学長、自然環境復元学会会長)

パネルディスカッション (プロジェクト報告、質疑・参加者交流)

進行 : 平吹 喜彦 (東北学院大学 景観生態学)

モデレーター : 菊池 慶子 (東北学院大学 歴史学)

原 慶太郎 (東京情報大学 景観生態学)

パネリスト : 岡 浩平 (広島工業大学 海岸生態学)

富田 瑞樹 (東京情報大学 森林生態学)

柳澤 英明 (東北学院大学 海岸工学)

千葉 一 (一社、前浜おらほのとおき 民俗学)

佐々木秀之 (せんだい・みやぎNPOセンター コミュニティビジネス)

問い合わせ: 東北学院大学 教養学部 平吹 喜彦 yhira@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

※自家用車は入校できません。公共交通機関でご来校いただくか、キャンパス近隣の民間有料駐車場をご利用下さい。

※参加費無料 申し込み不要、直接会場にお越し下さい

主催: 「生態系サービスの享受を最大化する '里浜復興シナリオ' 創出」プロジェクトチーム

後援: 高砂市民センター、NPO 法人宮城歴史資料保存ネットワーク、NPO 法人せんだい・みやぎNPOセンター、東北学院大学

協力: NPO法人日本ビオトープ協会 (北海道・東北地区委員会)、NPO法人環境生態工学研究所、緑を守り育てる宮城県連絡会議、北の里浜花のかけはしネットワーク、宮城昆虫地理研究会、(一社) 前浜おらほのとおき、南蒲生/砂浜海岸エコトーンモニタリングネットワーク

※「東北学院大学 平成 27 年度 学長研究助成金」支援事業